

豊陵会報

創立 100 周年特集 web 版

豊陵会報第 104 号「創立 100 周年記念特集」を発行し、記念募金に参加いただいた方の「芳名録」とともにお届けしました。

紙面の関係で収録できなかった寄稿・記事をここに掲載します。

■記念式典終わる

5 月 7 日、校内で「映像配信」により開催された「創立 100 周年記念式典」の詳細報告は [「創立 100 周年記念事業」ホームページ](#) の「式典・祝賀会」をご覧ください。

・会報に掲載できなかった写真とともに当日の様子を報告しています。

◎なお式典の全記録を収録した DVD 「創立 100 周年記念式典」を限定作成し、式典への出席申込者にお送りしました。視聴を希望される場合は DVD の貸し出しも致しますので豊陵会事務局までお問い合わせください。

(メール office@houryou.org / 電話・fax 06-6849-4973)

■記念式典の祝辞【要旨】

誇りをもって新しい歴史を刻む 学校長・平野裕一（高 32）

本日の大阪府立豊中高等学校創立 100 周年記念式典は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言下、当初予定していました豊中市立文化芸術センターでの開催が叶わず、映像を駆使した新しいスタイルでの実施となりました。

ご来賓を代表して、大阪府教育長 橋本正司様、豊中市長 長内繁樹様からは、動画という形でご祝辞をいただいております。また、多くの方々からお祝いのメッセージをいただきました。ありがとうございます。

100 周年記念事業実行委員会の皆様方には、数年間にわたる事業の準備・募金活動など本当にお世話になり、ありがとうございました。

そして、この式典を行なうに当たってご協力いただいた、出演者の同窓生の皆様、生徒諸君、関係スタッフの方々にも心より御礼を申し上げます。

100 周年の記念事業を行なうに当たって皆様から頂戴した寄付金の総額は 1 億円を超え、食堂が「豊陵ホール」としてリニューアルし、全教室への液晶プロジェクタ設置や各準備室の環境整備により、学習環境や執務環境を整えることに使わせていただきました。改めて、ご寄付をいただいた方々に御礼を申し上げます。

さて、豊中中学校・豊中高校の 100 年の歴史を振り返りますと、さまざまな社会の変化の中で歴史を紡いでまいりました。

大正デモクラシーと言われる豊中中学校創設期、太平洋戦争下の苦難を乗り越え、戦後の新制高等学校への移行。高度経済成長期や学生運動の高揚期を経て、グローバル時代を迎える今日。この間、一貫して「質実剛健」「協同進取」をモットーに本校は歩みを続けてまいりました。

この約 10 年間はグローバル・リーダーズ・ハイスクールとして、大阪府内屈指の公立高校としての地位を得ております。これもひとえに、創立以来の先輩諸賢のたゆまざるご努力と保護者の皆様の温かいご支援・ご協力、そして豊中市をはじめとする地域の皆様のご理解によるものです。

豊中高校は、創立 100 周年を節目として、気持ちを新たに、101 年ではなく、100 プラス 1 年を迎え、新しい歴史を刻んで参ります。生徒の皆さん、未来の豊中高校の歴史の担い手はあなた方です。そんな気持ちを持って、豊高での高校生活を送ってください。そして、母校に誇りを持ってください。

私事になって大変恐縮でございますが、私は 15 歳で豊高生となり、23 歳で豊中高校の教員、54 歳で豊中高校校長となり、本年度定年を迎えます。本日この日を迎えることができましたことは、まさに感無量であります。

結びとなりますが、関係者の皆様方には、豊中高校に対しまして引き続き、ご理解・ご支援賜りますことをお願いいたしまして、簡単ではございますが私の式辞と致します。

百年の歴史あるは歴代先生方のおかげ

創立百周年記念事業実行委員長

豊陵会会長・高坂敬三(高 16)

本日ここに豊中高校の創立 100 周年の式典にあたり、記念事業実行委員長として、また豊陵会会長としてご挨拶申し上げます。

本校は大正 10 年に設立され、大正・昭和・平成・令和と 4 つの時代を経て、3 万 7 千人の先輩・卒業生を送り出しました。本日講演いただく村上さんや 3 人のアーティストはじめ各界に様々の人材を輩出してまいりました。

しかしこの間、必ずしも平穏無事であったわけではありません。現にこの新型コロナ問題への対応に際して先生方の素早い対応。協同進取・質実剛健の精神のもと、一致団結して対応され、北摂に豊高ありとの評価を高めていただきました。これらはひとえに長年にわたる先生・職員方のご努力のお蔭であって、豊陵会を代表して心からお礼申し上げます。

私は昭和 33 年に豊高を卒業し、そろそろ卒業後 60 年に迫る齢になりますが、心の中には、校歌と、今は無い校舎正面の 2 本のヒマラヤ杉が残っています。

たまたま弁護士という職業を選びましたが同期生との横のつながり、先輩後輩の縦のつながりに助けられています。これがゆるぎないハーモニーとなって豊陵会があります。

コロナのなかで本日の記念式典ができたことは実行委員の方々、平野校長はじめ教職員のご努力のお蔭でありまして高い所からではありますがお礼申し上げます。

また、あえてひと言申し上げますと、平野校長という良きパートナーに恵まれて実行委員長としての役目を果たせました。和して同ぜず、校長としての職務を守りつつ、良きパートナーとして私を助けてくださいました。

豊陵会は今後も、心からの母校への応援団として先生方と相たずさえて尽力致します。

ここに参列の在校生の皆さん、これから入学する方々、豊中高校は皆さんと共に未来に向かって歩んでください。(記念式典DVDから要旨再録)

引継がれた豊高「3つの精神」

生徒代表「お祝いの言葉」

令和2年後期自治会会長・高田一弥(高74)

生徒を代表してお祝いの挨拶をいたすことをうれしく光栄に思います。

本校は100年もの間、各方面に活躍される幾多の先輩方を送り出してきました。なぜこのように多くの人材を生み出せたのか。「百周年記念誌」にも書かせていただきましたが、大きく3つの理由があると思います。

まずは豊高生一人一人の「高い志」です。世の中でどう活躍するか、という高い志を教えられました。

それが、「誠実」。考えて実行すると言う力につながります。今年の文化祭はコロナのために非常に制約の多い開催でしたが、一人ひとりが考え、物事を前向きにとらえてゆく精神が発揮されました。

そして「協同」です。文化祭は1日2時間・4日間の準備で、だれもが参加し完成する。細かな計画、役割分担を決め効率的に出展作品を仕上げました。メリーゴーランドやゲームなどです。文化祭は厳しい環境を乗り越えました。

仲間感謝し、仲間を感化してゆく。「誠実」「協同」が体现できる豊高の根幹です。これが引き継がれ、未来永劫に継がれてゆくことを願ってご挨拶いたします。

■式典にビデオで講演・演奏の方からの寄稿

これからの若者に幸あれ

記念講演 ペシャワール会会長 村上優(高20)

豊中高等学校創立100周年記念式典にあたり講演の機会をいただき感謝申し上げます。

50年以上前の豊高は、その爽やかさと楽しかった思い出で詰まっています。また次の人生に向かって大切なステップを準備していただいた高校時代が懐かしく思い出されます。

縁があって中村哲先生の事業を引き継ぎました。彼は36年間にわたりパキスタン北西辺境州からアフガニスタンで命を繋ぐ事業を継続しました。現在の新型コロナ感染と同じように彼の地での悪性マラリア大流行で奮闘した体験を「医は国境を超えて」(石風社)に載せています。この試練が私たちが次の世界を作る契機になることになるように願っています。

辻本さん・尾崎さんとの練習も思い出に

記念演奏3名を代表して

ピアニスト 大澤美穂(高43)

この度は、100 周年記念式典のご成功を心よりお慶び申し上げます。在校生の皆様などに、実際に演奏をお聴きいただくことが出来ず残念でしたが、当日に向けて、辻本さんや尾崎さんと和気あいあいと練習出来たことは、いい思い出です。式典では、演奏動画と一緒にビデオレターをご覧いただくことになり、改めて高校時代を振り返ってみましたが、沢山の経験が出来た素晴らしい時間であったと幸せに思っております。

今回は、コロナの感染拡大の中で式典をご準備された先生方、委員会の皆様の大変なご苦勞を感じながら、同時に、豊高を大切に思うお気持ちも強く伝わってまいりました。これからも豊高が多くの人に愛され、ますます発展し続けますよう、心よりお祈りしております。

■豊中高校創立百周年の夢

母校の 100 周年に寄せて

森田信利（高 32）

大阪府立豊中高校の 100 周年誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。私は高校 32 期の卒業で、卒業をして早 41 年となります。本当に早いものです。

そしてこの 100 周年を心待ちにしておりましたのは、何よりも同じクラスの平野校長が我らの豊高を大阪の府立高校の中でも輝く学校に引き上げるために、日々努力している姿を日陰ながら拝見し、本当に立派な学校に育てていただきましたことを一緒にお祝いをしたと考えていたからにほかなりません。

この 100 周年のタイミングで、世界では多くのことが起こり、本当に複雑な世の中になってきております。しかしそんなときこそ、基本が重要であり、最もいろいろなことを吸収できる高校生活をどこで過ごすかは非常に重要になってきております。

過去もその期待に応えてきましたのが豊高であり、これからも突出した人材の育成ができる高校であり続けるでしょう。最後にこのような立派な母校に育てていただいた教諭の皆さまそして関係していただいているすべての皆さまにこの場を借りて感謝申し上げたいと思います。

■連載「私の針路」

インタビューした内容で紙面の都合で掲載できなかった部分も収録しました。

豊高卒業後に留学 英国で薬剤師を目指す

高 67 谷垣内 肇さん

谷垣内さんは高校 3 年時に、進路を考えると漠然と興味があった留学を実現させたくなり一念発起。家族や英語科の安福先生に後押ししてもらい渡英。1 年間ノーリッチ（Norwich）でファウンデーションコース（大学に入る前の留学生のための準備コー

ス)。4年間レディング（Reading）で薬学部の勉強。修士。現在はウェールズの病院や薬局で研修薬剤師として働きながら国家試験に向けて勉強中。

先生と家族たちも背中を押してくれた

◆トヨコウ在学中からどんな希望・計画を持って、決心をされていたのですか。先生にはどんな相談をされ、どんなアドバイスがあったのですか。受験・渡英の準備は？

父の仕事上、もともと漠然と留学に興味がありました。高校3年になって進路を考えた時どうしても実現させたい気持ちが強くあったので、具体的にビザや学校、生活のこともネットを調べ計画を立てて家族に相談しました。とても有難いことに、祖父母も両親も背中を押してくれたので、決断してからは自分でどんどん進めることができました。

留学前はIELTSの試験対策を中心に勉強し、推薦書の準備などは英語科の安福先生に手伝ってもらいました。この記事に安福先生のお話も載せていただくと聞いて楽しみです。

幅広い薬学部の勉強範囲

◆初めての「単身ロンドン暮らし」は何から始まりましたか。会話はどうだったのですか？授業の内容や学校の様子、毎日の勉強は？

最初は「何じゃ、これは？」の連続でしたが、意外とすぐに慣れました。でも今でもお天気と食事には苦労していますが…。

親戚も知り合いも全くなく、クラスも日本人は僕だけの状況だったので、逆に積極的になろうと思えたのかも知れません。授業の合間に友達と予定を入れたりサッカーをしたり、とにかくせっかくの恵まれた環境を生かそうと自分を忙しくするよう心がけていました。

英語が特に得意だった訳ではありません。授業を録音し、後で聴き直しながらノートを作り、友達や先生に毎日たくさん質問をして必死について行っていました。時間が経つにつれどんどん理解のスピードは上がりました。大変でしたがずっとやりたかったことなので大学卒業まで楽しく乗り切る事ができました。友達や先生との日常の会話すらも英語の上達に繋がるので留学する機会があればとにかく積極的に何にでも首を突っ込んでみると早く順応できると思います。

薬学部では生命科学や薬理学などを実験や講義、グループディスカッションを通して学びながら、患者さんとのコミュニケーションの仕方や薬剤師としての倫理や法律まで様々なことを学びました。薬局や病院での研修も毎年度行われ、授業で学んだ知識を実際の医療の現場で使うトレーニングもしました。

サッカーで気分転換

◆猛勉強の毎日、どんな気分転換を？ ご家族や日本の同級生らとの交流は？

学生の際は大学のチームでサッカーをしていて、週末は遠征に行ったり、コロナ前はパブやスタジアムでプレミアリーグの試合を観たりしていました。週末に友達とロンドンまで出かけたり、長期休暇中はヨーロッパ旅行したりもしました。

コロナ感染が拡大してからはいずれも難しくなり、薬局もより忙しくなったので今は正直苦勞していますが、時間がある時は近くの海沿いを散歩したり、山に登ってみたりしています。



英国のコロナ現場も経験

◆卒業後、今は何をなさっている？

イギリスの薬剤師の業務は多岐にわたります。インフルエンザや肺炎、最近ではコロナウイルスのワクチンの注射をしたり、主要な病状の薬や抗マラリア薬、避妊薬を患者さんの診察をして直接薬局で提供したりもします。禁煙や減量、薬物依存からの脱却の手助けをしたり、トレーニングを積みば処方箋を書くことも出来るようになります。

最近では不正な薬の輸出入を防ぐために薬の箱にバーコードが付けられ、それをスキャンして追跡するシステムがイギリス全土で導入され始めました。

コロナ感染がピークに達していた時期は同僚が過勞で数週間休んだり、毎日のようにいつも診ていた患者さんたちが急にぽっくり亡くなったりと肉体的にも精神的にも辛い状況が続きました。

現在はワクチンの接種が広まっているおかげもあり街が少しずつ元の日常を取り戻しつつあります。医療現場の最前線でこの世界的に見ても激しく打撃を受け、その後ワクチンの普及などで回復して来ているイギリスの医療現場に実際毎日携われているのはとても良い経験だと思って頑張っています。

きっかけは豊高時代の海外語学研修

◆留学先に選ばれたのが、何故ロンドンだったのですか？

初めてイギリスに訪れたのは高校1年の時に参加した豊高の海外語学研修です。バース(Bath)と言う綺麗な街に2週間滞在して、同い年のフランス人と一緒にホスト・ファミリーの家に住み、世界各地から集まった同年代の生徒たちと一緒に授業を受けました。留学というものが、何となく叶えたい夢から一気に現実的な目標になった気がします。ちょうどオリンピックの年だったのでロンドンに行く機会もあり、ここで勉強出来たら良いなと言う気持ちも膨らみました。

違う事ばかりの人たちとの交流

◆留学生活で文化の違いも感じられたでしょうね？

イギリスの大学には世界中のありとあらゆる国から留学生が集まってくるので、文化の違いは毎日至る所で体感することができます。

例えばマレーシア人たちとシェアハウスしていた時、食事は手で食べたり、毎日庭でイスラム教のお祈りが行われていたり、文化や価値観など違うことだらけで、毎日リビングでみんなで話しているだけで楽しかったです。ただ「土足文化」だけは今でも慣れないので、自宅の玄関はきっちり仕切っています。

留学して一番良かったと思うことは世界中に何でも話せる友達が出来たことです。言葉、食、宗教、価値観や育った環境、何から何まで違うことだらけの人たちと一緒に授業を受け、暮らし、たくさん話すことで、どんどんいろんなことを吸収できました。そのことが留学生活で一番刺激的で有意義な時間だったと感じています。

他校ではできない経験をさせてもらった

◆豊高での学校生活を振り返っての思い出を。

祖父(編集部注＝高5・浩之さん)が豊高5期で、豊高は家から近いこともあって常に目標にしていました。

サッカー部の友達に恵まれて、クラスもみんな個性豊かで楽しかったです。今でも帰国した時は先生や同級生と飲みに行きます。

僕は文理学科の2期生で、課題研究としてセアカゴケグモを桃山台の住宅地で捕まえて調査したり、スマホの汚れ具合をルミテスターで調べたり、イギリスへの語学研修を含め、あまり他の学校ではできない経験をさせて貰えたと感じています。勉強はあまり好

きではなかったけれど、自由な校風で行事も沢山あり、楽しかった思い出で溢れています。

日本が好きになった！

◆ロンドンからみた日本をどのように感じますか？

日本の四季と美味しいご飯はいつでも恋しいです。イギリスは雨が多くご飯が不味いことで有名なので…。

僕は海外に出てから日本のことがより好きになりました。「日本人です」と相手に伝えた時の反応はポジティブなことがほとんどだし、日本車や日本の電化製品などを見かけるとなぜか少し嬉しく誇らしくなります。こっちに住んで、いろんな国の人たちと話すと、どれだけ日本が豊かで恵まれた環境だということが分るし、日本文化や日本食への海外の関心の高さにいつも驚かされます。一方で、途上国の人たちの勤勉さや情熱に触れていると、このままでは徐々に追いつき追い越されてしまうのではないかという危機感が湧いて来るのも正直な所です。

チャンスあれば、飛び込んでみて！

◆「豊陵会報」としては、後輩たちにもっと海外にチャレンジしてほしいと願っています。アドバイスがあれば…。

海外で勉強したり生活することは何も特別なことではないと僕は思います。イギリスの大学生も言葉や文化が違うだけで中身はみんな日本の大学生とほとんど変わりません。勉強熱心な人もいれば遊んでばかりの人もいるし、変わったすごい才能を持った人もいます。街にいる一般の人も同じです。なので、もし留学に興味がある人がいるなら、あまり気負う必要はないと思います。少し本気になって調べてみれば意外にサクッと道が開けるかも知れません。

英語に自信がなくてためらっている人もそれほど心配する必要はありません。僕の高校の英語の成績も特別良いものではなかったですが、自分から積極的に行動することを心掛ければ大概のことはなんとかなります。

留学をしたい意思がある人がいれば、「留学すること」を目標にするのではなく「その先」に何がしたいかを考えると、さらに具体的な考えが膨らむかも知れません。留学前にその先の目標が決まっていればより有意義な時間が過ごせるはずです。

大学で様々なバックグラウンドの人と出会い、自分の価値観や視野が大きく広がり、そして信頼できる友達が世界中にできたことが、留学して最も自分を成長させてくれたことだと僕は感じています。

僕の留学生活は毎日が刺激的で心の底から楽しむことができました。少しでも興味があるなら一歩踏み出してみてください。チャンスがあるなら飛び込んでみて下さい、悩んでい

るなら少しずつ行動に移してみてください、そうすればきっと大きな成長に繋がるはずです。
(5月20日、メールでのインタビュー。聞き手＝古澤頼秋(高48))

◆安福先生からのお返事 高校3年の夏頃、谷垣内くんから留学について相談を受けました。「海外で薬剤師になりたい」という明確な目標を持ち、自ら情報収集や資料集めを行い、ご家族からの理解も得られており、あとは彼自身が思い切れるかどうかだけでした。

私は谷垣内くんのクラスの Grammar や Reader の授業を担当していました。疑問に思うことには、納得いくまでとことん取り組む生徒で、授業後や放課後にはよく質問に来ていました。また、ムードメーカーとしてクラスや行事を盛り上げ、サッカー部では中心的存在として活躍していました。そんな谷垣内くんなら、海外でも、仲間と支え合いながらやっていけると思い、全力で応援しました。(当時の彼の英語力は判断材料ではありませんでした…)

■豊高スポーツ

【母校提供の資料をもとに豊陵会報前号以後から2021年4月までの記録を掲載】

▼剣道

- ・正志剣道大会(3月21日) 男子団体＝準優勝。優秀選手賞＝2年4組神原康祐。

▼女子バレーボール

- ・大阪高校総体兼全日本選手権予選(9月6・13日) 4回戦敗退
- ・大阪高校新人大会1次予選(11月22日) 2部に残留。
- ・大阪公立高校大会(12月19・20日) 中央トーナメント1回戦敗退。

▼男子バスケットボール

- ・大阪府北地区公立高校代替大会(12月27日) Gブロック優勝。総合3位。
- ・大阪高校新人大会 (1月11日) 2回戦敗退。

▼女子バスケットボール

- ・大阪高校選手権(9月) 3回戦進出。
- ・同新人大会(3月)3回戦進出。

▼なぎなた

- ・近畿高校選手権(11月11日) 団体3位。
- ・新人大会 (1月11日) 団体3位。

▼陸上競技

- ・大阪高校総体兼大阪高校陸上種目別大会(8月23日) 男子400m 3位。近畿大会出場。

▼アメフト

- ・豊中・池田定期戦(11月23日)豊中20－17池田

▼卓球

- ・大阪総体・新人戦大会(11月3日) 団体男子府ベスト16。
- ・大阪府卓球協会第6回特別普及大会(12月19日) 男子単で3位。

▼女子硬式テニス

- ・大阪高校秋季大会(9月23日) 9位。
- ・府公立校対抗大会(11月3日) 5位。

▼野球

- ・2020年府高校野球大会 (1回戦)豊中7-0 英真学園。(2回戦)豊中9-2 緑風冠。
(3回戦)関大一7-2 豊中。
- ・秋季大会 (2回戦)豊中13-12 大阪星光学園。(3回戦)箕面学園11-4 豊中。
- ・令和2年度北地区公立高大会 3位。

豊高文化部

▼吹奏楽

- ・府アンサンブルコンテスト(12月27日) 金賞。

▼美術工芸

- ・第41回府高校芸術文化祭・工芸部門コンクール展(1月26日～31日) 絵画部門で入選。